

目録 List

鳥取県の外来性動植物のリスト(2007)

鳥取県生物学会

The Biological Society of Tottori: Lists of alien species recorded in Tottori Prefecture, Japan (2007).

鳥取県生物学会では鳥取県からの委託により2005-2006年の2カ年にわたって、鳥取県内の外来種(国内移動を含む)の生息実態調査をおこなった。その結果に基づき、2006年3月までの時点で鳥取県に生息が確認された(現在は消失しているが、記録がある種を含む)外来性動植物のリスト作成をおこなった。ここに動物と植物のそれぞれについてその一覧表を掲載する。侵入年代の古い外来種の中には普通種として完全に定着し鳥取県民の多くにとってすでに原風景の一部となっているようなものが多数あるが(シロツメクサ、オオイヌノフグリ、モンシロチョウなど)、新規の外来種の侵入と増加は、在来種の生息・生育にとって好ましくない場合がほとんどで、地域固有の生物多様性を健全に保全するうえで、それらの動向に対する監視は非常に重要である。これらのリストが会員諸氏の外来種への注意喚起に役立てば幸いである。

なお、ここでいう外来種とは、原則として明治以降に鳥取県に人間の営為にもなって侵入した、あるいは人為的に導入されたものが野外に逸出した動植物種(亜種を含む)をさすが、江戸時代までに侵入していたものについても外来種であることが明らかなものについては対象としている。原則として日本生態学会編(2002)「外来種ハンドブック」の掲載種で鳥取県に生息・生育するものが該当種であるが、当ハンドブックでカバーされていないものについても、鳥取県で外来と判定されるものについてはとりあげている。温暖化にともなう自然分布の拡大で新たに鳥取県内から記録されるようになったと考えられる種(ナガサキアゲハ、クロコノマチョウなど)については対象外としている(温暖化現象を人間の営為の結果と考えれば、これらも広義の外来種だといえなくもないが、あくまで間接的結果であるので)。

動植物と植物では情報として有用な項目が若干異なるので、リストは以下、それぞれ別表として掲載する。また作業分担者も動物・植物で異なるので、それらの方々の氏名は個別リストに掲載する。なお、本外来種生息実態調査に関しては、鳥取県生活環境部の方々(とりわけ三上裕加、徳安正之、檜垣英司の諸氏)にお世話になった。ここに記してお礼申し上げる。

鳥取県生物学会(文責: 鶴崎展巨・永松 大)

鳥取県の外来動物リスト(2007)

A list of alien animals in Tottori Prefecture

動物の外来種のリスト作成および生息データ収集の協力者は以下のとおりである(おもに鳥取県生物学会会員であるが、会員外の方を含む。敬称略、五十音順):安藤重敏、伊澤宏毅、一澤 圭、井上牧雄、岡田 純、岡田珠美、尾原 和夫、門脇 久志、神谷 要、川上 靖、桐原佳介、桐原真希、國本洗紀、小林一彦、小林朋道、佐藤隆士、田中一郎、谷岡 浩、田村昭夫、鶴崎展巨、中島 悟、永幡嘉之、中前 雄一郎、長谷川寿一、原 竜也、細谷賢明、益田芳樹、松田裕一、三島寿雄、宮倉 誠、吉田良平、淀江 賢一郎、和田年史。

次の方々からは、一部の種または動物群に関して助言をいただいた:江原昭三、大原昌宏、井原 庸、増田 修。また上記担当者からの依頼で、データ収集に間接的に協力いただいた方が多数おられる。ここには個別にお名前を記さないが、それらの方々にもお礼申し上げます。

なお、分量の関係で、ここには外来性動物種の一覧を表として掲載するにとどめ、それらの種の個別の生息状況などについては次号に別稿として用意する予定である。

鳥取県生物学会(文責: 鶴崎展巨)

No.	門または綱	目	科	種(亜種)の和名	種の学名	原産地	△×○ 未定着 不明	○ 本県定着	△ あり 不明	◎ 影響大	◎ 本県への影響	◎ 生態系	◎ 生命・身体	◎ 農水産業	備考
1	哺乳類	齧歯目	リス科	シマリス	<i>Tamias sibiricus</i>	中国・朝鮮半島	△	—	○						久松山で2005年に1個体目撃
2	哺乳類	齧歯目	ネズミ科	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	中央アジア	○	△							
3	哺乳類	齧歯目	ネズミ科	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	東南アジア	○	△							
4	哺乳類	齧歯目	ネズミ科	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	中央アジア付近	○	△							
5	哺乳類	齧歯目	ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	南米	○	◎	○						特定外来生物(一次)
6	哺乳類	食肉目	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	北米	○	◎	○						特定外来生物(一次)
7	哺乳類	食肉目	イタチ科	チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	朝鮮半島・中国	○	○	○						
8	哺乳類	食肉目	ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	中国・台湾	×	—	○						
9	鳥類	カモ目	カモ科	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	ヨーロッパ	○	○	○						
10	鳥類	キジ目	キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracica</i>	中国南部	×	—	○						1988年倉吉市大原で確認
11	鳥類	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>	欧州・中央アジア・北アフリカ付近	○	△	○						
12	鳥類	スズメ目	チメドリ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix iutea</i>	中国	○	○	○						特定外来生物(一次)
13	爬虫類	カメ目	カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	北米	×	—	○						特定外来生物(一次) 1997年千代川で捕獲
14	爬虫類	カメ目	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	北米	○	○	○						
15	両生類	無尾目	アカガエル科	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	北米	○	○	○						特定外来生物(二次)
16	魚類	コイ目	コイ科	ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idella</i>	中国	×	—	○						
17	魚類	コイ目	コイ科	ハクレン	<i>Hypophthalmichthys molitrix</i>	中国	×	—	○						
18	魚類	コイ目	コイ科	ニゴロブナ	<i>Carrasius carassius grandoculis</i>	琵琶湖	×	—	○						国内移動
19	魚類	コイ目	コイ科	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	琵琶湖周辺	○	△	○						国内移動
20	魚類	コイ目	コイ科	ワタカ	<i>Ischikauia st eanackeri</i>	琵琶湖・淀川水系	○	△	○						国内移動
21	魚類	コイ目	コイ科	ハス	<i>Opsariichthys uncirostris</i>	琵琶湖・淀川水系	×	—	○						国内移動
22	魚類	コイ目	コイ科	スゴモロコ	<i>Squalidus biwae</i>	琵琶湖	△	△	○						国内移動
23	魚類	コイ目	コイ科	コウライモロコ	<i>Squalidus chankaensis tsuchigae</i>	瀬戸内側本州, 四国, 朝鮮半島	○	△	○						国内移動(?)
24	魚類	コイ目	コイ科	イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>	濃尾平野以西日本	○	△	○						国内移動
25	魚類	コイ目	コイ科	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus</i>	中国	○	◎	○						
26	魚類	サケ目	サケ科	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	北米	△	△	○						
27	魚類	サケ目	サケ科	ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i>	北部ヨーロッパ	×	△	○						1998年大山町樋口で採集
28	魚類	サケ目	サケ科	サツキマス(アマゴ)	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	太平洋側本州	○	◎	○						国内移動
29	魚類	スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	北米	○	◎	○						特定外来生物(一次)
30	魚類	スズキ目	サンフィッシュ科	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	北米	○	◎	○						特定外来生物(一次)
31	魚類	スズキ目	タイワンドジョウ科	カムルチー	<i>Channa argus</i>	中国・朝鮮半島	○	△	○						
32	昆虫類	鱗翅目	ヒトリガ科	アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i>	北米	○	○	○						1977年9月防除所初確認
33	昆虫類	鱗翅目	シジミチョウ科	ムラサキツバメ	<i>Narathura bazalus</i>	九州・四国・本種南部	○	△							国内移動2005年から急速増加
34	昆虫類	鱗翅目	シロチョウ科	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>	ユーラシア北部	○	△	○						
35	昆虫類	鱗翅目	イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida</i>	中国・インド	○	◎	○						果樹害虫
36	昆虫類	双翅目	ショウジョウバエ科	キイロショウジョウバエ	<i>Drosophila melanogaster</i>		○	△							
37	昆虫類	膜翅目	ミツバチ科	セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>	ヨーロッパ	×	△	○						
38	昆虫類	膜翅目	アナバチ科	アメリカジガバチ	<i>Sceliphron caementarium</i>	北米	△	△	○						
39	昆虫類	膜翅目	タマバチ科	クリタマバチ	<i>Drycosmus kuriphilus</i>	中国	○	○							鳥取県には1947年から
40	昆虫類	膜翅目	アリガタバチ科	シバンムシアリガタバチ	<i>Cephalonomia gallicola</i>	汎世界分布	○	○							屋内害虫の天敵
41	昆虫類	膜翅目	セイボウ科	イラガセイボウ	<i>Chrysis shanghaiensis</i>	中国	○	○	○						農業害虫の天敵

No.	門または綱	目	科	種(亜種)の和名	種の学名	原産地	△×○ 未定着 不明	○ 本県定着 不明	△○◎ あり 影響大	本県への影響 不明	影響の種類			備考
											生態系	生命・身体	農林水産業	
42	昆虫類	鞘翅目	ゾウムシ科	アルファルファ タコゾウムシ	<i>Hypera postica</i>	ヨーロッパ	○	◎			○	1996年発生確認		
43	昆虫類	鞘翅目	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>	アメリカ合衆国	○	◎			○	1983年侵入確認		
44	昆虫類	鞘翅目	ハムシ科	ブタクサハムシ	<i>Ophraella communa</i>	北米	○	○	○		○	鳥取県には2000年から		
45	昆虫類	鞘翅目	カツオブシムシ科	ヒメカツオブシムシ	<i>Attagenus japonicus</i>	汎世界分布	○	△						
46	昆虫類	鞘翅目	カミキリムシ科	ラミーカミキリ	<i>Paraglenea fortunei</i>	中国	○	△	○					
47	昆虫類	鞘翅目	ヒョウホンムシ科	ヒメヒョウホンムシ	<i>Pinus clavipes</i>	汎世界分布	○	—				屋内害虫		
48	昆虫類	鞘翅目	シバンムシ科	タバコシバンムシ	<i>Lasioderma sericorne</i>	汎世界分布	○	—				屋内害虫		
49	昆虫類	鞘翅目	シバンムシ科	ジンサンシバンムシ	<i>Stegobium paniceum</i>	汎世界分布	○	—				屋内害虫		
50	昆虫類	半翅目	サシガメ科	ヨコヅナサシガメ	<i>Agiosphodrus dohrni</i>	中国	○	○	○					
51	昆虫類	半翅目	グンバイムシ科	アワダチソウグンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>	北米	○	○	○		○	2006年6月県内初確認		
52	昆虫類	半翅目	ネアブラムシ科	ブドウネアブラムシ	<i>Viteus vitifolii</i>	北米	○	○			○			
53	昆虫類	半翅目	マルカイガラムシ科	ヤノネカイガラムシ	<i>Unaspis yanonensis</i>	中国	○	○			○			
54	昆虫類	半翅目	コナジラミ科	タバココナジラミ (バイオタイプQ)	<i>Bemisia tabaci Q-biotype</i>	不明(スペイン)	○	○			○	2005年確認		
55	昆虫類	直翅目	カンタン科	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>	中国	○	△						
56	昆虫類	直翅目	マツムシ科	アオマツムシ	<i>Calypoterme brevis</i>	中国	○	◎	○					
57	昆虫類	ゴキブリ目	ゴキブリ科	クロゴキブリ	<i>Periplaneta fuliginosa</i>	中国南部	○	○			○	屋内害虫		
58	昆虫類	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	チャバネゴキブリ	<i>Blattella germanica</i>	北東アフリカ	○	○			○	屋内害虫		
59	昆虫類	シミ目	シミ科	セイヨウシミ	<i>Lepisma saccharina</i>	ヨーロッパ	○	△				屋内害虫		
60	甲殻類	背甲目	カブトエビ科	アメリカカブトエビ	<i>Triops longicaudatus</i>	北米	○	△			○			
61	甲殻類	背甲目	カブトエビ科	アジアカブトエビ	<i>Triops granarius</i>	中国	○	△			○			
62	甲殻類	十脚目	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	北米	○	○	○		○	もっとも古い確実な記録は1957年		
63	甲殻類	等脚目	ワラジムシ科	ワラジムシ	<i>Porcellio scaber</i>	ヨーロッパ	○	△	○					
64	甲殻類	等脚目	ワラジムシ科	ホソワラジムシ	<i>Porcellionides pruinosus</i>	ヨーロッパ	○	△	○					
65	甲殻類	等脚目	ワラジムシ科	ナガワラジムシ	<i>Haplophthalmus danicus</i>	ヨーロッパ	○	△	○					
66	甲殻類	等脚目	オカダンゴムシ科	オカダンゴムシ	<i>Armadillidium vulgare</i>	ヨーロッパ	○	△	○					
67	クモガタ綱	クモ目	ウシオグモ科	クロガケジグモ	<i>Badumna insignis</i>	オーストラリア	○	△	○	△				
68	腹足綱	盤足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>	南米	○	◎	○		○	農業害虫		
69	腹足綱	基眼目	サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	ヨーロッパ	○	○	○					
70	腹足綱	柄眼目	モノアラガイ科	コシタカヒメモノアラガイ	<i>Galba truncatula</i>	ヨーロッパ	○	○						
71	腹足綱	柄眼目	モノアラガイ科	ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>	原産地不詳	○	○						
72	腹足綱	柄眼目	サナギガイ科	マルナタネガイ	<i>Pupisoma orcula</i>		△	△						
73	腹足綱	柄眼目	コハクガイ科	コハクガイ	<i>Zonitoides arboreus</i>	北米	△	△						
74	腹足綱	柄眼目	コウラナメクジ科	コウラナメクジ	<i>Limax flavus</i>	ヨーロッパ	○	○	○		○	農業害虫		
75	腹足綱	柄眼目	コウラナメクジ科	チャコウラナメクジ	<i>Lehmannia valentiana</i>	ヨーロッパ	△	○	○		○	農業害虫		
76	二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	マルドブガイ	<i>Anodonta calipygos</i>	琵琶湖	○	△	○			1974年に確認 国内移動 環境省RDBでVU 鳥取県RDBでVU		
77	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	ヨーロッパ大西洋	○	△	○		○			
78	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	オーストラリア・ニュージーランド	○	○	○		○			
79	多毛綱	ケヤリムシ目	カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomtus enigmaticus</i>	ヨーロッパ大西洋	△	○	○		○			
80	線虫綱	ハリセンチュウ目	アフエレンコイデス科	マツノザイセンチュウ	<i>Bursaphelenchus xylophilus</i>	北米	○	◎	○		○			
81	刺胞動物門	ヒドロ虫目	ハナガサクラゲ科	マミズクラゲ	<i>Craspedacusta sowerbyi</i>	汎世界	×	△						

県内では未確認であるが注意を要する外来種

1	魚類	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Carassius cuvieri</i>	北米	×	○	○	県内の信頼できる記録なし
---	----	-------	-------	------	--------------------------	----	---	---	---	--------------

「外来種ハンドブック」の外来種リストにあり、鳥取県内にも生息するが除外する種

1	昆虫類	鞘翅目	コガネムシ科	シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis</i>		○			鳥取県内の集団は在来
---	-----	-----	--------	-----------	-----------------------------	--	---	--	--	------------

鳥取県の外来植物リスト(2007)

A list of alien plants in Tottori Prefecture

分類は主にエングラの体系に従った。備考欄に環境省:特定外来(要注外来)とある種は外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)により指定された特定外来生物(栽培, 保管, 移動などの禁止)あるいは生態系に影響を及ぼしうる要注外来生物(規制は特になし)を表す(2007年3月現在)。同様に世界ワースト100, 日本ワースト100は世界(または日本)の侵略的外来種ワースト100(外来種ハンドブック参照)を表す。植物の外来種リスト作成および生育データ収集の協力者は以下のとおりである(おもに鳥取県生物学会会員であるが, 会員外の方を含む。敬称略, 五十音順): 浅井康宏, 井上貴美子, 加藤 努, 栗山みどり, 坂田成孝, 清末忠人, 清末幸久, 田中昭彦, 棚田耕吉, 谷岡 浩, 鶴崎展巨, 永松大, 西尾幸弘, 松田真由美, 松本 綾, 森本満喜夫, 山本晴恵。

次の方々からは, 一部の種または植物群に関して助言をいただいた: 清水寛厚, 白井伸和。また上記担当者からの依頼で, データ収集に間接的に協力いただいた方が多数おられる。ここには個別にお名前を記さないが, それらの方々にもお礼申し上げます。

なお, 分量の関係で, ここには外来性植物種の一覧を表として掲載するにとどめる。

鳥取県生物学会(文責: 永松 大・坂田成孝)

No.	分類群門・綱・亜綱	科	種の和名	種の学名	原産地	△×○本県定着 不明未定着	△○◎本県への影響 不明あり大影響	影響の種類 生態系 生命・身体	農林水産業	備考
1	双子葉離弁花	タデ	ソバカズラ	<i>Fallopia convolvulus</i>	ヨーロッパ-アジア	○				
2	双子葉離弁花	タデ	ツルドクダミ	<i>Fallopia multiflora</i>	中国	○				
3	双子葉離弁花	タデ	ヒメツルソバ	<i>Persicaria capitata</i>	中国南部-ヒマラヤ	○				
4	双子葉離弁花	タデ	オオケタデ	<i>Persicaria orientalis</i>	東-南アジア	○				
5	双子葉離弁花	タデ	ハイミチヤナギ	<i>Polygonum arenastrum</i>	ユーラシア	○				
6	双子葉離弁花	タデ	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i>	ユーラシア	○				
7	双子葉離弁花	タデ	アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>	ヨーロッパ	○				
8	双子葉離弁花	タデ	ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>	ユーラシア	○				在来のギシギシと中間型 できる
9	双子葉離弁花	タデ	エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	ヨーロッパ	○	○	○		環境省:要注外来
10	双子葉離弁花	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ (アメリカヤマゴボウ)	<i>Phytolacca americana</i>	北アメリカ	○				
11	双子葉離弁花	ザクロソウ	クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i>	熱帯アメリカ	○				史前帰化
12	双子葉離弁花	スベリヒコ	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i>	熱帯アメリカ	○				
13	双子葉離弁花	ナデシコ	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>	ヨーロッパ	○				
14	双子葉離弁花	ナデシコ	ノハラナデシコ	<i>Dianthus armeria</i>	ヨーロッパ	○				
15	双子葉離弁花	ナデシコ	ヌカイトナデシコ	<i>Gypsophila muralis</i>	ヨーロッパ	○				
16	双子葉離弁花	ナデシコ	イヌコモチナデシコ	<i>Petrorhagia nanteuilii</i>	西ヨーロッパ	○				
17	双子葉離弁花	ナデシコ	ヨツバハコベ	<i>Polycarpon tetraphyllum</i>	ヨーロッパ	○				
18	双子葉離弁花	ナデシコ	ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>	ヨーロッパ	○				栽培逸出
19	双子葉離弁花	ナデシコ	シロバナマンテマ	<i>Silene gallica</i> var. <i>gallica</i>	南-中ヨーロッパ	○				沿海地に多い, 栽培逸出

No.	分類群門・綱・亜綱	科	種の和名	種の学名	原産地	△×○本 未定着 不明	○本 定着 着	△○あ あり 不明	◎本 県への 影響 大	影響の 種類 生態系 生命・ 身体	農林 水産 業	備 考
20	双子葉離弁花	ナデシコ	マンテマ	<i>Silene gallica</i> var. <i>quinquevulnera</i>	南-中ヨーロッパ	○						沿海地に多い, 栽培逸出
21	双子葉離弁花	ナデシコ	ノハラツメクサ	<i>Spergula arvensis</i> var. <i>arvensis</i>	ヨーロッパ	○						
22	双子葉離弁花	ナデシコ	ウシオハナツメクサ	<i>Spergularia bocconii</i>	地中海地方	○						
23	双子葉離弁花	アカザ	ケアリタソウ (アリタソウ)	<i>Chenopodium ambrosioides</i> var. <i>pubescens</i>	メキシコ	○						
24	双子葉離弁花	アカザ	コアカザ	<i>Chenopodium ficifolium</i>	ヨーロッパ, シベリア西部	○						史前帰化
25	双子葉離弁花	アカザ	ウラジロアカザ	<i>Chenopodium glaucum</i>	ユーラシア	○						
26	双子葉離弁花	ヒユ	ホソバツルノゲイトウ	<i>Alternanthera denticulata</i>	オーストラリア	○						
27	双子葉離弁花	ヒユ	ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i>	南アメリカ	△						環境省:特定外来, 県内未 発見, 観賞用
28	双子葉離弁花	ヒユ	ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i>	熱帯アメリカ	○						近縁種と区別困難
29	双子葉離弁花	ヒユ	ホナガイヌビユ	<i>Amaranthus viridis</i>	南アメリカ	○						
30	双子葉離弁花	サボテン	ハイウチワ	<i>Opuntia humifusa</i>	北アメリカ	○						栽培逸出
31	双子葉離弁花	キンボウゲ	シュウメイギク	<i>Anemone hupehensis</i>	中国西南部	○						栽培逸出
32	双子葉離弁花	キンボウゲ	トゲミノキツネノボ タン	<i>Ranunculus muricatus</i>	ヨーロッパ-西 アジア	○	○	○				
33	双子葉離弁花	ケシ	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>	地中海沿岸	○						
34	双子葉離弁花	ケシ	アツミゲシ	<i>Papaver setigerum</i>	地中海沿岸	○						保健所駆除 2004年
35	双子葉離弁花	アブラナ	ハルザキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i>	ヨーロッパ	○						環境省:要注意外来, 日本 ワースト100
36	双子葉離弁花	アブラナ	セイヨウカラシナ	<i>Brassica juncea</i>	ユーラシア	○						明治以前から栽培
37	双子葉離弁花	アブラナ	セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>	ユーラシア	○						明治初期に菜種油の目的 で栽培
38	双子葉離弁花	アブラナ	オニハマダイコン	<i>Cakile edentula</i>	北アメリカ東岸	○						
39	双子葉離弁花	アブラナ	ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>	ヨーロッパ	○						
40	双子葉離弁花	アブラナ	マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	北アメリカ	○						
41	双子葉離弁花	アブラナ	ゴウダソウ	<i>Lunaria annua</i>	ヨーロッパ	○						
42	双子葉離弁花	アブラナ	オランダガラシ (クレソン)	<i>Nasturtium officinale</i>	ヨーロッパ	○	○	○	○			環境省:要注意外来, 水田, 水路等
43	双子葉離弁花	アブラナ	カキネガラシ	<i>Sisymbrium officinale</i>	ヨーロッパ	○						
44	双子葉離弁花	ベンケイソウ	ヨーロッパタイトゴメ	<i>Sedum acre</i>	ヨーロッパ-北 アフリカ	○						観賞用から逸出?
45	双子葉離弁花	ベンケイソウ	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>	中国	○						史前帰化
46	双子葉離弁花	ベンケイソウ	メキシコマンネングサ	<i>Sedum mexicanum</i>	メキシコ	○						
47	双子葉離弁花	ベンケイソウ	ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i>	中国・韓国	○						古くに中国から渡来か石 垣など
48	双子葉離弁花	バラ	ハイキジムシロ	<i>Potentilla anglica</i>	ヨーロッパ	○						栽培逸出
49	双子葉離弁花	マメ	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>	北米南部-中米	○	○	○				環境省:要注意外来, 日本 ワースト100
50	双子葉離弁花	マメ	ゲンゲ (別名レンゲソウ)	<i>Astragalus sinicus</i>	中国	○						水田緑肥から逸出
51	双子葉離弁花	マメ	エニシダ	<i>Cytisus scoparius</i>	ヨーロッパ南部	○						観賞用導入
52	双子葉離弁花	マメ	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>	北アメリカ	○						
53	双子葉離弁花	マメ	外来コマツナギ	<i>Indigofera</i> sp.	朝鮮・中国	○						道路のり面緑化大型直立, 中国産?
54	双子葉離弁花	マメ	セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i>	ヨーロッパ	○						牧草として導入
55	双子葉離弁花	マメ	ネビキミヤコグサ	<i>Lotus pedunculatus</i>	ヨーロッパ, 北 アフリカ	○						
56	双子葉離弁花	マメ	コメツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i>	ヨーロッパ	○						
57	双子葉離弁花	マメ	ウマゴヤシ	<i>Medicago polymorpha</i>	地中海沿岸	○						牧草として導入
58	双子葉離弁花	マメ	ムラサキウマゴヤシ	<i>Medicago sativa</i>	地中海沿岸	○						牧草として導入
59	双子葉離弁花	マメ	シロバナシナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> subsp. <i>albus</i>	西-中央アジア	○						牧草として導入
60	双子葉離弁花	マメ	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	北アメリカ	○	◎	○				環境省:要注意外来, 日本 ワースト100
61	双子葉離弁花	マメ	タマザキクサフジ	<i>Securigera varia</i>	ヨーロッパ	○						牧草として導入

No.	分類群門・綱・亜綱	科	種の和名	種の学名	原産地	△×○本 未定着 不明	△○◎本 県への影 響大	◎あり 不明	◎あり 不明	◎あり 不明	◎あり 不明	◎あり 不明	備考
62	双子葉離弁花	マメ	エビスグサ	<i>Senna obtusifolia</i>	熱帯アメリカ	○							江戸時代に薬用として渡来, ハブ茶
63	双子葉離弁花	マメ	コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>	ヨーロッパ-西アジア	○							
64	双子葉離弁花	マメ	ツメクサダマシ	<i>Trifolium fragiferum</i>	ヨーロッパ	○							牧草として導入
65	双子葉離弁花	マメ	ベニバナツメクサ	<i>Trifolium incarnatum</i>	ヨーロッパ-西アジア	○							牧草として導入
66	双子葉離弁花	マメ	シロツメクサ	<i>Trifolium medium</i>	ヨーロッパ	○							牧草, 飼料作物
67	双子葉離弁花	カタバミ	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>	南アメリカ	○							栽培逸出
68	双子葉離弁花	カタバミ	ベニカタバミ	<i>Oxalis brasiliensis</i>	南アメリカ	○							栽培逸出
69	双子葉離弁花	カタバミ	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>	南アメリカ	○	○				○		環境省:要注意外来, 栽培逸出
70	双子葉離弁花	カタバミ	オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>	北アメリカ	○							
71	双子葉離弁花	フウロソウ	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>	北アメリカ	○							
72	双子葉離弁花	アマ	キバナノマツバニンジン	<i>Linum medium</i> var. <i>medium</i>	北アメリカ	○							
73	双子葉離弁花	トウダイグサ	コニシキソウ	<i>Chamaesyce maculata</i>	北アメリカ	○							
74	双子葉離弁花	トウダイグサ	オオニシキソウ	<i>Chamaesyce nutans</i>	北アメリカ	○							
75	双子葉離弁花	ニガキ	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>	中国	○	○	○					
76	双子葉離弁花	アオイ	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i>	インド	○	○				○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
77	双子葉離弁花	アオイ	ウサギアオイ	<i>Malva parviflora</i>	地中海沿岸	○							
78	双子葉離弁花	アオイ	ナガエアオイ	<i>Malva pusilla</i>	ヨーロッパ	○							
79	双子葉離弁花	アオイ	ウスベニアオイ	<i>Malva sylvestris</i> var. <i>sylvestris</i>	ヨーロッパ	○							市街地路傍
80	双子葉離弁花	アオイ	フユアオイ	<i>Malva verticillata</i>	東アジア	○							
81	双子葉離弁花	アオイ	アメリカキンゴジカ	<i>Sida spinosa</i>	熱帯アメリカ	○							
82	双子葉離弁花	ウリ	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	北アメリカ	○	○	○					環境省:特定外来, 日本ワースト100
83	双子葉離弁花	ミソハギ	ナンゴクヒメミソハギ	<i>Ammannia auriculata</i>	北アメリカ	○							
84	双子葉離弁花	ミソハギ	ホソバヒメミソハギ	<i>Ammannia coccinea</i>	熱帯アメリカ	○							
85	双子葉離弁花	アカバナ	メマツヨイグサ(アレチマツヨイグサ含む)	<i>Oenothera biennis</i> (<i>Oenothera parviflora</i>)	北アメリカ	○	○	○					環境省:要注意外来, 両種中間型多し
86	双子葉離弁花	アカバナ	オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i>	北アメリカ	○							
87	双子葉離弁花	アカバナ	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	北アメリカ	○	○	○					環境省:要注意外来
88	双子葉離弁花	アカバナ	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>	熱帯アメリカ	○							栽培逸出
89	双子葉離弁花	アカバナ	ヒルザキツキミソウ	<i>Oenothera speciosa</i>	北アメリカ	○							栽培逸出
90	双子葉離弁花	アカバナ	マツヨイグサ	<i>Oenothera stricta</i>	南アメリカ	○							
91	双子葉離弁花	アリノトウグサ	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>	南アメリカ	○	○	○					環境省:特定外来, 日本ワースト100
92	双子葉離弁花	ウコギ	カミヤツデ	<i>Tetrapanax papyriferus</i>	中国	○							逸出
93	双子葉離弁花	セリ	ノラニンジン	<i>Daucus carota</i>	西アジア-地中海沿岸	○							
94	双子葉合弁花	サクラソウ	アカバナリハコベ	<i>Anagallis arvensis</i> forma <i>arvensis</i>	ヨーロッパ	○							公園造成時に侵入か
95	双子葉合弁花	キョウチクトウ	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	ヨーロッパ	○							栽培逸出, 生活力旺盛
96	双子葉合弁花	アカネ	オオフタバムグラ	<i>Diodia teres</i>	北アメリカ	○	○	○					環境省:要注意外来, 鳥取砂丘は80年代侵入
97	双子葉合弁花	アカネ	メリケンムグラ	<i>Diodia virginiana</i>	北アメリカ	○							
98	双子葉合弁花	ヒルガオ	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta pentagona</i>	北アメリカ	○	○	○					環境省:要注意外来, 海岸砂地で目立つ
99	双子葉合弁花	ヒルガオ	マルバルコウソウ	<i>Quamoclit coccinea</i>	熱帯アメリカ	○							
100	双子葉合弁花	ムラサキ	コンフリー	<i>Symphytum X uplandicum</i>	ヨーロッパ	○							人家近くで半野生化が見られる
101	双子葉合弁花	クマツヅラ	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>	南アメリカ	○							
102	双子葉合弁花	クマツヅラ	ダキバアレチハナガサ	<i>Verbena incompta</i>	南アメリカ	○							栽培逸出, 路傍
103	双子葉合弁花	クマツヅラ	ヒメクマツヅラ	<i>Verbena litoralis</i>	北アメリカ	○							
104	双子葉合弁花	クマツヅラ	ヤナギハナガサ	<i>Vervena bonariensis</i>	南アメリカ	○							

No.	分類群門・綱・亜綱	科	種の和名	種の学名	原産地	△×○本 未定着 不明	○本 定着	△○本 未定着 不明	◎本 影響大	影響の種 生態系	生命・ 身体	農林水 産業	備考
105	双子葉合弁花	シソ	セイヨウジュウニヒトエ (セイヨウキランソウ)	<i>Ajuga reptans</i>	ヨーロッパ	○							栽培逸出
106	双子葉合弁花	シソ	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>	ヨーロッパ	○							
107	双子葉合弁花	シソ	オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i>	ヨーロッパ	○							
108	双子葉合弁花	ナス	ヨウシュチョウセン アサガオ	<i>Datura stramonium</i>	熱帯-温帯	○							環境省:要注意外来(チ ョウセンアサガオ属)
109	双子葉合弁花	ナス	ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> var. <i>franchetii</i>	中国	○							
110	双子葉合弁花	ナス	ハコベホオズキ	<i>Salpichroa rhomboidea</i>	南アメリカ	○							
111	双子葉合弁花	ナス	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i>	北アメリカ	○	○	○					
112	双子葉合弁花	ナス	ワルナスビ	<i>Solanum carolinensis</i>	北アメリカ	○	◎	○					環境省:要注意外来, 牧草 混入起源か
113	双子葉合弁花	ナス	イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>	熱帯アメリカ	○							史前帰化
114	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	ツタバウンラン	<i>Cymbalaria muralis</i>	地中海沿岸	○							栽培逸出
115	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	マツバウンラン	<i>Linaria canadensis</i>	北アメリカ	○							栽培逸出
116	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	ホソバウンラン	<i>Linaria vulgaris</i>	ヨーロッパ	○							栽培逸出
117	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i>	北アメリカ	○							
118	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	セイヨウヒキヨモギ	<i>Parentucellia viscosa</i>	ヨーロッパ	○							
119	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	ピロ-ドモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i>	ヨーロッパ	○							栽培逸出
120	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	ヨーロッパ-北 部アジア	○	○	○					環境省:特定外来
121	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>	ヨーロッパ	○							
122	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	フラサバソウ	<i>Veronica hederifolia</i>	ヨーロッパ	○							
123	双子葉合弁花	ゴマノハグサ	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>	西アジア, 中近東	○							
124	双子葉合弁花	オオバコ	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>	ヨーロッパ	○	○	○					環境省:要注意外来
125	双子葉合弁花	オオバコ	ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i>	北アメリカ	○							
126	双子葉合弁花	オミナエシ	ノジシャ	<i>Valerianella olitoria</i>	地中海沿岸	○							野菜として導入
127	双子葉合弁花	キキョウ	キキョウソウ	<i>Triodanis perfoliata</i>	北アメリカ	○							
128	双子葉合弁花	キク	ブタクサ	<i>Abroosia artemisiaefolia</i> var. <i>elatior</i>	北アメリカ	○	◎	○	花 粉 症				環境省:要注意外来, 非意 図的侵入
129	双子葉合弁花	キク	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	北アメリカ	○	◎	○	花 粉 症				環境省:要注意外来, 日本 ワースト100
130	双子葉合弁花	キク	セイヨウノコギリソ ウ	<i>Archillea millefolium</i>	ヨーロッパ	○							
131	双子葉合弁花	キク	クソニンジン	<i>Artemisia annua</i>	東ヨーロッパ	○							史前帰化
132	双子葉合弁花	キク	ネバリノギク	<i>Aster novae-angliae</i>	北アメリカ	△							環境省:要注意外来, 日本 ワースト100
133	双子葉合弁花	キク	ヒロハハウキギク	<i>Aster pilosus</i> var. <i>ligulatus</i>	北アメリカ	○							
134	双子葉合弁花	キク	ハウキギク	<i>Aster subulatus</i> var. <i>sandwicensis</i>	北アメリカ	○							
135	双子葉合弁花	キク	アメリカセンダング サ	<i>Bidens frondosa</i>	北アメリカ	○	○	○					環境省:要注意外来, 非意 図的侵入
136	双子葉合弁花	キク	ヒレアザミ	<i>Carduus crispus</i>	ユーラシア	○							
137	双子葉合弁花	キク	アレチノギク	<i>Conyza bonariensis</i>	南アメリカ	○							近年少なくなってきた
138	双子葉合弁花	キク	ケナシヒメムカシヨ モギ	<i>Conyza parva</i>	北アメリカ	○							
139	双子葉合弁花	キク	オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>	南アメリカ	○	○	○					環境省:要注意外来, 日本 ワースト100
140	双子葉合弁花	キク	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	北アメリカ	○	◎	○					環境省:特定外来, 日本 ワースト100
141	双子葉合弁花	キク	ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i>	北アメリカ	○							栽培逸出
142	双子葉合弁花	キク	キバナコスモス	<i>Cosmos sulphureus</i>	熱帯アメリカ	○							栽培逸出
143	双子葉合弁花	キク	ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>	アフリカ	○							
144	双子葉合弁花	キク	アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>	北アメリカ	○							水田, 河川敷に目立つ
145	双子葉合弁花	キク	ダンドボロギク	<i>Erechtites hieracifolia</i>	北アメリカ	○							
146	双子葉合弁花	キク	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	北アメリカ	○	○	○					環境省:要注意外来, 非意 図的侵入

No.	分類群門・綱・亜綱	科	種の和名	種の学名	原産地	△ × ○ 未 定 着 着	本 県 へ の 影 響 大 小	影 響 の 種 類	農 林 水 産 業	備 考
147	双子葉合弁花	キク	ペラペラヨメナ	<i>Erigeron karvinskianus</i>	中央アメリカ	○				
148	双子葉合弁花	キク	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	北アメリカ	○				環境省:要注意外来, 日本ワースト100
149	双子葉合弁花	キク	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>	熱帯アメリカ	○				
150	双子葉合弁花	キク	タチチコグサ	<i>Gnaphalium calviceps</i>	熱帯アメリカ	○				
151	双子葉合弁花	キク	チチコグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>	熱帯アメリカ	○				
152	双子葉合弁花	キク	ウスベニチチコグサ	<i>Gnaphalium purpureum</i>	アメリカ	○				
153	双子葉合弁花	キク	ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i>	南アメリカ	○				
154	双子葉合弁花	キク	ミズヒマワリ	<i>Gymnocoronis spilanthoides</i>	中央・南アメリカ	△				環境省:特定外来, 県内未発見
155	双子葉合弁花	キク	クキイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>	北アメリカ	○	○	○		環境省:要注意外来
156	双子葉合弁花	キク	ブタナ	<i>Hypochoeris radicata</i>	ヨーロッパ	○	○	○		環境省:要注意外来
157	双子葉合弁花	キク	アラゲハンゴンソウ	<i>Rudbeckia hirta</i> var. <i>pulcherrima</i>	北アメリカ	○				
158	双子葉合弁花	キク	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>	北アメリカ	○	◎	○		環境省:特定外来, 日南町にて繁殖
159	双子葉合弁花	キク	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i>	マダガスカル	×				環境省:特定外来, 県内未発見
160	双子葉合弁花	キク	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>	ヨーロッパ	○				
161	双子葉合弁花	キク	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	北アメリカ	○	◎	○	○	環境省:要注意外来, 日本ワースト100
162	双子葉合弁花	キク	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> var. <i>leiophylla</i>	北アメリカ	○	○	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
163	双子葉合弁花	キク	トキワアワダチソウ	<i>Solidago sempervirens</i>	北アメリカ東部	○				
164	双子葉合弁花	キク	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	ヨーロッパ	○				
165	双子葉合弁花	キク	ヒメジョオン	<i>Stenactis annuus</i>	北アメリカ	○	○	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
166	双子葉合弁花	キク	アカミタンポポ(外来タンポポ種群)	<i>Taraxacum laevigatum</i>	ヨーロッパ	○	○	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
167	双子葉合弁花	キク	セイヨウタンポポ(外来タンポポ種群)	<i>Taraxacum officinale</i>	ヨーロッパ	○	○	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
168	双子葉合弁花	キク	オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>	北アメリカ	○	○	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
169	単子葉	トチカガミ	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>	南アメリカ	○	◎	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
170	単子葉	トチカガミ	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	北アメリカ	○	◎	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
171	単子葉	ミズアオイ	ホテイアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>	ブラジル	× 越冬できず				環境省:要注意外来, 世界ワースト100
172	単子葉	ユリ	バイモ	<i>Fritillaria verticillata</i> var. <i>thunbergii</i>	中国	○				薬用, 逸出, 八頭町
173	単子葉	ユリ	ハナニラ	<i>Ipheion uniflorum</i>	南アメリカ	○				栽培逸出
174	単子葉	ユリ	タカサゴユリ	<i>Lilium formosanum</i>	台湾	○				栽培逸出
175	単子葉	ユリ	アツバキミガヨラン	<i>Yucca gloriosa</i>	北アメリカ	△				栽培逸出
176	単子葉	アヤメ	キショウブ	<i>Iris pseudoacorus</i>	ヨーロッパ-西アジア	○	○	○		環境省:要注意外来, 日本ワースト100
177	単子葉	アヤメ	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>	北アメリカ	○				
178	単子葉	アヤメ	オオニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium</i> sp.	北アメリカ	○				
179	単子葉	アヤメ	ヒメヒオウギズイセン	<i>Tritonia x crocosmaeflora</i>	南アフリカ	○				
180	単子葉	ツククサ	ノハカタカラクサ(トキワツククサ)	<i>Tradescantia fluminensis</i>	南アメリカ	○				環境省:要注意外来
181	単子葉	イネ	ナンカイヌカボ	<i>Agrostis avenacea</i>	オセアニア	○				
182	単子葉	イネ	ヌカススキ	<i>Aira caryophyllea</i>	ヨーロッパ-西アジア	○				
183	単子葉	イネ	オオハマガヤ(アメリカハマニンニク)	<i>Ammophila breviligulata</i>	北アメリカ	○				戦後飛砂防止用に植栽
184	単子葉	イネ	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	北アメリカ	○	◎	○	○	環境省:要注意外来
185	単子葉	イネ	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	ユーラシア	○				牧草として導入
186	単子葉	イネ	コバンソウ	<i>Briza maxima</i>	地中海地方	○				
187	単子葉	イネ	ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>	地中海地方	○				

No.	分類群門・綱・亜綱	科	種の和名	種の学名	原産地	△×○本 不明未定着 定着着	△○本 不明定着 定着着	◎本 あり影 響大	◎本 あり影 響大	◎本 あり影 響大	◎本 あり影 響大	◎本 あり影 響大	備考
188	単子葉	イネ	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>	南アメリカ	○							
189	単子葉	イネ	ヒゲナガスズメノ チャヒキ	<i>Bromus diandrus</i>	ヨーロッパ	○							
190	単子葉	イネ	スズメノチャヒキ	<i>Bromus japonicus</i>	北半球の温帯	○						史前帰化	
191	単子葉	イネ	ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>	東南アジア	○						栽培逸出	
192	単子葉	イネ	ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>	世界の暖地	○						史前帰化	
193	単子葉	イネ	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	ヨーロッパ	○						環境省:要注意外来	
194	単子葉	イネ	カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> var. <i>transiens</i>	朝鮮・中国	○						史前帰化	
195	単子葉	イネ	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvulus</i>	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	環境省:要注意外来, 日本 ワースト100	
196	単子葉	イネ	コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i>	ユーラシア	○							
197	単子葉	イネ	ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>	東アジア	○						史前帰化	
198	単子葉	イネ	オニウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>	ヨーロッパ-シ ベリア	○	○	○	○	○	○	環境省:要注意外来, 日本 ワースト100	
199	単子葉	イネ	ハガワリトボシガラ	<i>Festuca heterophylla</i>	ヨーロッパ-西 アジア	○						砂防用種子, 法面緑化に 利用	
200	単子葉	イネ	オオウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>	多くの変種に分 けられ不明	○						砂防, のり面緑化用, 2005年消失	
201	単子葉	イネ	ムカゴウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i> forma <i>vivipara</i>	多くの変種に分 けられ不明	○							
202	単子葉	イネ	シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i>	ヨーロッパ	○						牧草として導入	
203	単子葉	イネ	ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	ヨーロッパ	○	○	○	○	○	○	環境省:要注意外来	
204	単子葉	イネ	ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>	ヨーロッパ	○	○	○	○	○	○	ネズミムギと交雑, 雑種 利用	
205	単子葉	イネ	ボウムギ	<i>Lolium rigidum</i>	地中海地方	○	○	○	○	○	○		
206	単子葉	イネ	ニコゲヌカキビ	<i>Panicum acuminatum</i>	北アメリカ	○							
207	単子葉	イネ	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	北アメリカ	○							
208	単子葉	イネ	キシウスズメノヒエ	<i>Paspalum distichum</i>	北アメリカ	○	○				○	環境省:要注意外来, 飼料 作物	
209	単子葉	イネ	アメリカスズメノヒエ	<i>Paspalum notatum</i>	熱帯アメリカ	○						緑化用	
210	単子葉	イネ	オオアワガエリ	<i>Phleum pratense</i>	ヨーロッパ	○						環境省:要注意外来	
211	単子葉	イネ	モウソウチク	<i>Phyllostachys heterocycla</i>	ヨーロッパ, 西アジア	○	○	○	○	○	○		
212	単子葉	イネ	ツルスズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> var. <i>reptans</i>	ヨーロッパ	○							
213	単子葉	イネ	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i> subsp. <i>pratensis</i>	ユーラシア	○							
214	単子葉	イネ	オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i> subsp. <i>trivialis</i>	ヨーロッパ-西 南アジア	○							
215	単子葉	イネ	ハマヒエガエリ	<i>Polygomon monspeliensis</i>	世界の暖帯-温 帯	○						史前帰化	
216	単子葉	イネ	セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i>	地中海沿岸	○						牧草として導入	
217	単子葉	イネ	ノギナシセイバンモ ロコシ	<i>Sorghum halepense</i> forma <i>muticum</i>	地中海沿岸	○						セイバンモロコシの芒な し型	
218	単子葉	イネ	オオナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>megalura</i>	北アメリカ	○							
219	単子葉	イネ	ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>myuros</i>	地中海地方-西 アジア	○							
220	単子葉	サトイモ	ボタンウキクサ	<i>Pistia stratiotes</i>	アフリカ	×						環境省:特定外来, 日本 ワースト100	
221	シダ植物門	イワヒバ	イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i>	東南アジア, 東 アジア	○						山野草の寄せ植えから逃 げ出し	
222	シダ植物門	イワヒバ	コンテリクラマゴケ	<i>Selaginella uncinata</i>	中国南部	○						庭園にて栽培, 逸出して 野生化	
223	シダ植物門	アカウキクサ	アゾラ・クリスタータ	<i>Azolla cristata</i>	南北アメリカ	△						環境省:特定外来以前県内 でも販売	